

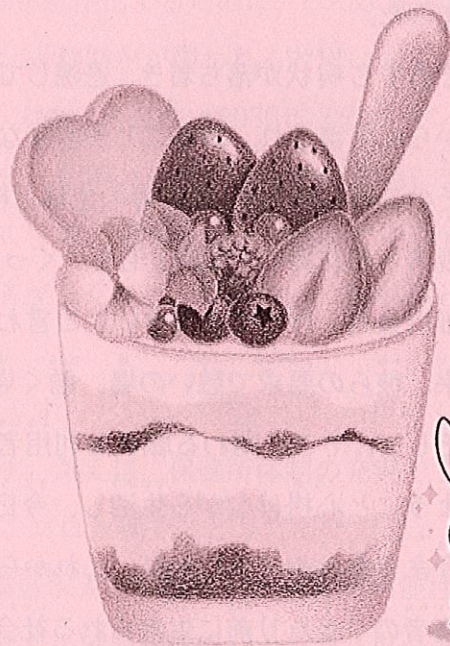
HSK

79号

こころから

2022.4

待つ春に
心おどりて
胸はじけ
美
輪投げする声
空まで聞こゆ



わー、おうん、うん



<https://www.seishin-sien.com/>
ホームページも見てね!



こちらの
QRコードからも
アクセスできます

昭和48年1月13日第3種郵便物承認
HSK通巻番号601号
発行 2022年 4月10日 (毎月10日発行)
編集 住所：札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
団体名：特定非営利活動法人 (NPO)
精神障害者を支援する会
TEL：(011) 736-1697
発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)
定価 50円 (会費に含む)

2022年度を迎えて

専務理事 細川久美子

精神障害者を支援する会(略称—支援する会)が結成して、今年で27年目を迎えました。結成した当時はバブルが崩壊し、世の中が一気に不安に包まれた時代でした。

しかし精神障害者にとっては、戦前からの隔離された生活とそれほど変わらない、病院でのカギのかかる病棟での入院生活をしている人たちがそれなりにいた時代でもありました。

それでも病状が落ち着き、退院して帰る家がある人たちは退院していききましたが、身内からも阻害され、帰ることが出来ない人たちも多くいました。

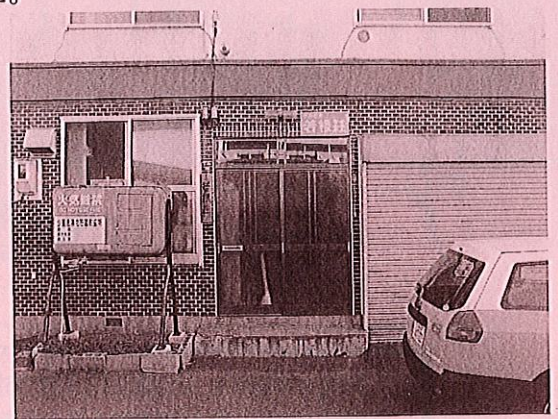
そのころ、細川は「障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会」の会長をしており、札幌市との交渉で「共同住宅をつくってください」と要求したところ、「補助金を出すので細川会長、作ってください」といわれ、1996年10月に「若根荘」を立ち上げて以来、彼らの要求で憩いの場、働く場を作ってきました。

そして、そこに関わる職員と利用者が心ひとつにして、このコロナの中で、感染しないようにと心掛けながら生活し、今日にいたりしました。

今まで色々ありましたが、これからもあらゆる障害者の「当たり前」に生きられる社会の実現を目指してがんばることを決意し、新年度の抱負といたします。



ダリアの郷地域活動支援センター開所式(2007年10月、今まで無認可でやってきたダリアの郷が札幌市の補助事業として認可されて改めて開所)



若根荘玄関(元短期大学の下宿だったアパートを借りてのグループホーム)



「精神障害者を支援する会」新事務所オープン(2010年11月9日)

写真は、「精神障害者とともに生きる」あけび書房より

札幌市政の2022年度の予算の組み方について

精神障害者を支援する会理事 田中啓介
(札幌市議会議員)



2020年2月に新型コロナウイルス感染症の陽性者が札幌市で初めて確認されてから、2年が経過しました。札幌市は、2022年度予算の柱として「感染症の影響から市民を守り、社会経済活動の力強い回復を支えるまちづくり」「子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり」などとしています。これらを具体化するために、どんな事業をすべきか、必要のない事業はやめるなど、予算をどのように組むのかが問われると思います。

秋元市長は、総工費1200億円超にもなる都心アクセス道路、2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致、都心のリニューアルといった、民間ビル建設などの再開発に対する補助、そして北海道新幹線の2030年札幌開業。これらに多額の税金を投入することで、札幌の経済を良くするといいます。これら事業で、札幌の経済が良くなり、市民のいのちが守られ、くらしが豊かになるのでしょうか。

私は、本当に市民のいのちを守る、くらしを良くするというのであれば、市民のくらしを直接支援する事業にこそ予算を組むべきだと思います。例えば、保健所体制の充実です。保健所の役割の1つが感染症から市民を守ることですが、コロナ禍ではどうだったでしょう。特に、第6波の時、保健所の疫学調査が追い付かず、感染者本人が周囲に対し感染の可能性があるので連絡する、連絡を受けた濃厚接触者は自分で自身の健康観察を行うなど「自分で判断してください」となりました。これは、疫学調査をする保健師が足りないからです。札幌市の保健所などで働く保健師数は、人口10万人当たり13.5人で、20政令市中19番目という少なさです。

子どもの医療費無料化は、多くの政令市が中学卒業まで対象にしている中、札幌市は小学卒業までにとどまっています。不要不急の事業へ組んでいる予算を、保健師の確保、子ども医療費無料化対象拡大への予算にあてるべきです。また、積雪寒冷地である札幌市として、市民のくらしを守るために除排雪は大切な公共事業です。今冬は、大雪により除排雪が進まず、幹線道路、生活道路の交通障害が全市的に起きていました。議会の質問の中で、救急車がスタック（雪道などで車のタイヤが埋まって動けなくなる事）してしまった事案も数件あったことも明らかになりました。救急車が動けなくなるということは命にかかります。

今冬のような気象状況は今後も起こりえます。市民の社会活動を守るためにも、計画的な除排雪をすること、除排雪事業者の体制の維持と安定化のために、地元の建設業者への支援にもっと予算を組むべきです。

3/15(火)

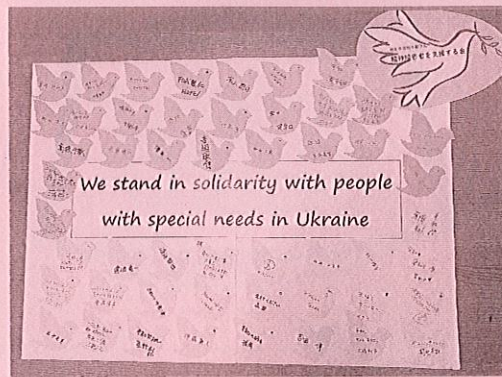
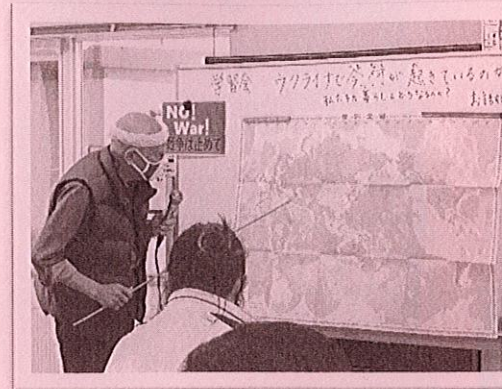
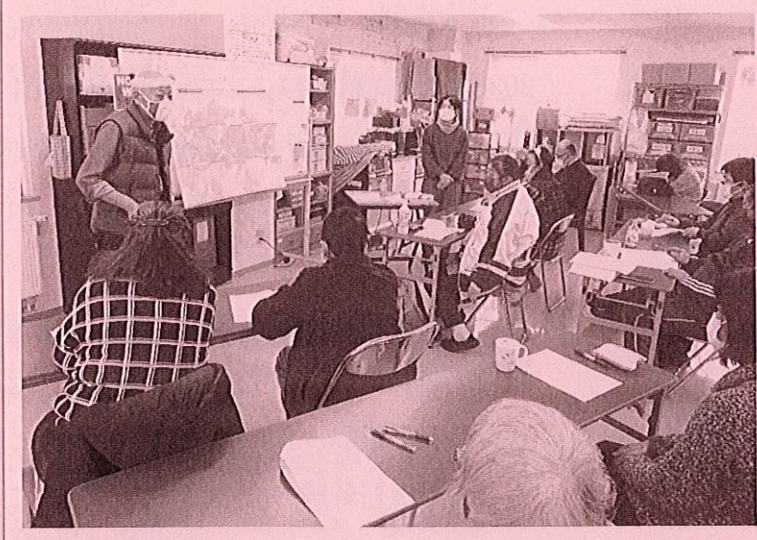
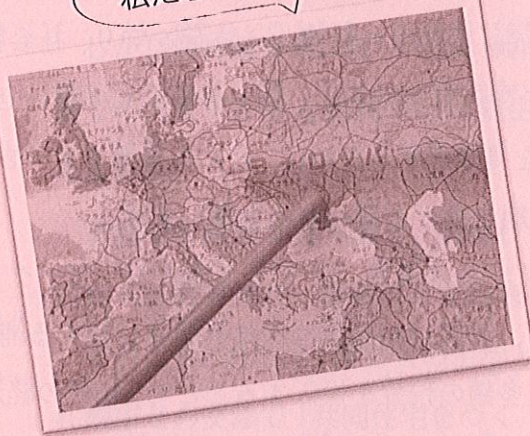
三浦理事長に学ぶ「ウクライナで何が起きているのか」学習会

世界地図をみながら、ウクライナ、ロシア、ベラルーシ等関連国の地理を確認。その後理事長が準備してくれた資料を読みながら、ロシアがウクライナ侵攻までに至る経緯を時系列で確認。その後、ロシアの要求はなんなのか、日本への影響はなにかをみんなで勉強した。

ロシアがしている事は、「侵略」か？

憲法9条、国連、国際世論は戦争を止められるか？

私たちに何が出来るか？



「ウクライナの障害を持つ人々に連帯します」のメッセージを掲げた寄せ書き。募金と一緒に日本赤十字社北海道支部に届けました。

<私の意見・感想>

会長がとてもわかりやすく説明してくれたと思います。なぜ両国が戦争になっているかなどよくわかりました。質問コーナーで、ロシアに不利益な報道を流したら捕まるって噂を聞いたことがあるので、それが本当なのか聞けばよかったなと思っています。(岸山さん)

<私の意見・感想>

ぼくは、ぜんぜん、かんがえることができなかつたけど、いろんな人が、しつもんしたりしていました。ぼくはハツゲンできませんでした。いろんな事がおきているんだなと、かんじました。まだ、もう少しかんがえれば、よかったなと思いました。(渡辺さん)

<私の意見・感想>

今まで他人事のように思っていたのですが、話を聞いて恐ろしくなりました。ぼきん活動などせっきよくてきに参加したいです。(板橋さん)

<私の意見・感想>

だい二次せんそうの時に、しんせきの2人のおじさんが戦死しました。1人はサイパンでかえんほうしゃきでやかれて、もう1人は山の上で馬にのっているところをうたれてなくなりました。ウクライナの戦争を毎日見ていると悲しくなります。(斉藤さん)

<私の意見・感想>

ロシア側の妄想がおこしたとしか思えない今回の侵略、おそらく当初の目的を達成できずにロシアが敗北する予想ですが、プーチンが限定核攻撃を行う可能性もあり、予断を許せない状況です。これ以上の悲劇がおこらないよう祈るばかりです。(井上さん)

<私の意見・感想>

TV ではイメージが大きくわかりづらかったですが、世界地図を使つての説明はわかりやすかったです。不安はついてまわりますが、うまく切り替えて自分の事を一つ一つこなしてゆきたいです。頭が疲れました。(木崎さん)

<私の意見・感想>

ロシアの身勝手な戦争に怒りを覚えます。一般市民を巻き込まないで欲しい。石油や小麦の高価に物価上昇は本当に迷惑です。核は人類には過ぎた物です。抑制できる代物じゃない。日本は9条のおかげで平和にやってこられたのだから、これからは失くしてほしくないです。戦争の準備なんかトンデモナイ事です。戦争反対、核反対。戦争したいならトップが最前列に立ってトップだけでケンカすれば良いと思いました。(内田さん)

<私の意見・感想>

憲法9条はどこの国、人種の中に少なからずあると信じて！プーチンの考えは自分にはよく解からないが、今のウクライナではもう沢山の人が死んでいる。その事についてロシア国民は後ろ指をこの先ずっと指されるのだ、たった一人の命令で、「どうしたら戦争は止まるか？」という議題に自分は意見を言えなかつたけどロシアに経済制裁をかけるのは本当に正しいか疑問だった。自分は違う気がしてならない、必要なのは戦争を始めてしまう人に抽象的ではあるが、ありったけの「愛」で包む事ではないかと思う。今の世界情勢を皆で考えて発表できたのは良かった。命のうばいあいなんて自分はゴメンだよ(山田さん)

<私の意見・感想>

テレビや新聞では「侵略」という表現をあまり見ないので、『報道に規制がかかっているのか？』と気になっていました。ロシアのしている事は「侵略」だと思います。(Iさん)

<私の意見・感想>

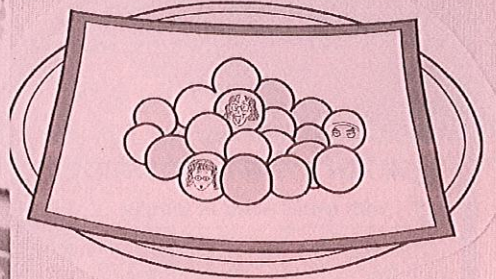
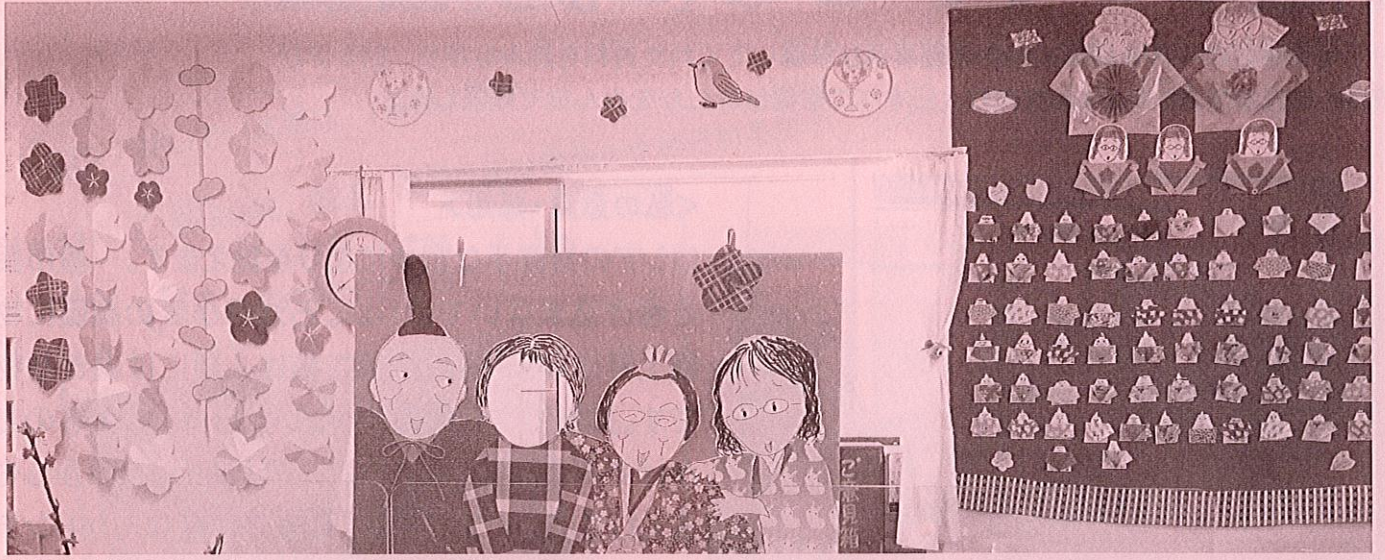
令和4年3月15日の理事長さんの話を聞いて思った事。ウクライナの方々が何故こんなに大勢亡くならないといけないのか。とても悲しいです。日本にこないか心配です。妊婦さんや赤ちゃんの命が亡くなっています。日本には関係ありませんが、やはり日本には来て欲しくないです。理事長の話を聞いて人々の命は無くしたくはないです。(高瀬さん)

<私の意見・感想>

ロシアとの戦争で多くの人々の命がうばわれている。私の願いは一日も早く戦争が終わり、もとの生活に戻る事を願います。これ以上、命をうばわないで欲しい。私は毎日心がいたい。ウクライナの皆様に安心して生活が出来る日々がきますように。(上野さん)

3/3 ひな祭り

なおこバンドさん、すてきな^{うたごえ}歌声をありがとうございました。



幸也
みんなで願う
ひなまつり
御へもじり
花に祈り
美



ひな祭りの「寄せ書き」ありがとう！

コロナ禍で入院しているメンバーさんに面会する事ができません。そこで、みんなで「寄せ書き」を書いて送ることにしました。受け取ったメンバーさんからのメッセージです。

「寄せ書き」に、すごく励まされました。ありがとうございました。(松本さん)

封筒を受け取った時、入院が長引いているので「退会の書類かな？」と懸って開けたら、みんなから寄せ書きだった。こんなうれしい事はない。みんなが懸ってくれてうれしい。感謝しています。(村上直之さん)

寄せ書きをもらって「仲間がいるっていいなあ」と懸った。うれしくて、看護師さん9人くらいに見せて回り、「いいね」と言われました。ありがとうございました。(田口さん)

うれしかったです。(木元さん)
※木元さんからお礼のお電話がありました。電話口でみんなからのメッセージをうれしそうに読み上げてくれました

わざわざメッセージを送ってくれて、ありがとうございました。まだ退院までは時間がかかりそうです。(岩崎さん)

ありがとうございました。(岩月さん)

豆まき

理事長と細川専務から、福豆を頂きました。



福は～内!
コロナは～外!



4コマまんが



By みか

《寄付金・寄贈品》

当会の活動に対し、ご支援いただき
厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2022. 2. 1～2022. 3. 31

北海道生活と健康を守る会連合会、ニチドクジムキ(株)、(有) 藤本青果店、森田、堀田美千子、高島、藤田和子、増田順蔵、熊谷通子、高坂瑞世、西村伊久夫、田口尚之、岸山周司



～ご協力のお願い～

『書き損じハガキ、ありませんか？』

いつも、ご協力頂きありがとうございます。
支援する会では、書き損じハガキを、支援する会の財政活動に使わせて頂いております。引き続きご協力をお願い致します。



2022年4月22日、赤十字北海道支部に「ウクライナ人道危機救援金」を届けました。

HSK ころから

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

発行 2022年4月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号601号

＜編集後記＞

学習会「ウクライナで何が起きているのか」を終えた翌日、皆に感想を聞いたところ「自分たちに何ができるのか？」という考えに発展し、募金を希望する声が目立つようになりました。「防弾チョッキより、人道支援に使ってもらえるように」と10万円を超える募金が集まり、「私たちはウクライナの障害を持つ人々に連帯します」のメッセージを掲げた寄せ書きと一緒に、日本赤十字社北海道支部に届けました。学習会に参加し、怖いけれど事実に向き合おうとする利用者さんの姿にも勇気づけられ、学びを継続できるようにしたいと思います。(藤原)